

ふれ愛にしうち



第6号

太田西ノ内病院広報誌・第6号

発行/財太田総合病院附属太田西ノ内病院

編集/太田西ノ内病院広報委員会

発行日/平成13年11月20日

住所/郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024) 925-1188

ホームページ: <http://www.ohita-hp.or.jp/>



昭和6年10月27日 山形県山形市に生まれる
昭和32年3月 福島県立医科大学卒業
昭和33年4月 東北大学医学部放射線科入局
昭和40年4月 東北大学医学部講師
昭和42年4月 福島県立医科大学勤務
昭和56年3月 福島県立医科大学助教授
昭和56年5月 太田西ノ内病院放射線科部長
平成元年9月 太田西ノ内病院副院長
平成6年7月 財団法人太田総合病院評議員
平成8年6月 財団法人太田総合病院常任理事
平成13年6月 財団法人太田総合病院相談役

所謂冷戦の終結と云われた時代、「イデオロギーの終焉」「歴史の終り」と云う本が出版され民主主義の勝利、資本主義体制の正当性等が謳われた。2001年9月11日の表題はどうなるであろうか。グローバリズムの行きつく所、一神教の果てに、市場経済、競争社会の行方等々……。あの日の世界貿易センタービルの崩落は、これまで人類が保持してたある種の信頼感の如きものを同時に喪失してしまったのではあるまいか。人類は文明の変換を余儀なくされると云う重いつらい歴史を歩む事になる。二十世紀、人類が選択した巨大生産、高消費の世界は

「競争」と云う成功の為の要素を必要とした。今一つ見逃せないのは、社会の生産が高コストに傾く事で、これのつけが競争の負け組みの上に厚く、著しく出現する事になる。現在米国の医療は、実は勝ち組の為の高度医療になつていて、その範囲では世界一と云う評価は正しいであろう。先般の米国医師会の人達の訪日は、実は日本の医療を見習うべき点があるのかも知れぬと云う期待がこめられたものではなかったのか？。先進国の中で、低い医療費で世界一の長寿を実現した医療内容は何か、と云うわけである。

医療と云うのは、広くは「癒し」の場である。本当は負け組みの人達にこそ与えられる場面が多かるべきであるのが本当であろう。地域中核病院としてのあり様を自覚している我々の太田病院も実はその機構を巨大化して来た。「巨きい事は良い事ばかりではない」と云う云い方は、名誉理事長の口ぐせになつてしまつていた。実は巨大化の為の難問は、その数も質もふくれあがる。

実はあの9月11日、私の頭を先ずよぎつたのは「スモール・イズ・ビューティフル」と云う、シューマッハーの言葉であつた。「人間中心の経済学」と云う副題を持つ本で、巨大生産、巨大消費経済ではなく適正規模の消費を、その目的を達成する最小限の手段を追求する経済学の本である。これに私の手法上の座右の銘として「シンブル・イズ・ベスト」との組み合わせで難問に対処したい。医療事故と云う事も難問である。実は医療とそのリスクと云うのは背中合せの事で「ゼロ・リスク」と云うのは医療行為のスタイルと云うべきである。従つて、車の安全運転と、医療のリスクマネージメントとの間には大きい共通点が存在する。

何よりも、美しがるべき人間社会構築の仕事を携わっていると云う使命感を持つて仕事を実行出来る事を、有難い事であると思ひ得るならば、それは幸せな事であるはずである。今、太田病院と云う世界の中の小さな小さな社会から、美しい人間社会再構築のエネルギーが燃え始める事を私は期待する。

太田総合病院相談役

佐々木 幹 人

『スモール・イズ・ビューティフル』

診療科紹介

循環器科

人間の体の中には、色々な臓器があり、我々が生活するためには、多くの臓器が個々に関連しあって働く必要があります。その中で、血液を体内にくまなく行き渡らせる働きを担っているのが循環器系といわれ、体循環（心臓―大動脈―個々の臓器）と、肺循環（心臓―肺動脈―肺―心臓）と、肺静脈（心臓―肺動脈―肺の毛細血管―肺静脈―心臓）という2つの大きな回路で成り立っています。この2つの回路にとっても重要な臓器が心臓であり、2つの回路内を血液が充分に流れるためのポンプの働きをしていると理解して下さい。各臓器の循環はそれぞれの専門家がおりますので、当循環器科はこの循環器系の中で心臓と大動脈、肺動脈の病気を主に担当しております。

心臓の病気としては、心臓に血液を送る冠状動脈の病気である虚血性心疾患（急性心筋梗塞、狭心症）、心臓の中の血液の流れ方向を調節している弁膜の病気である心臓弁膜症（僧帽弁や大動脈弁の狭窄あるいは閉鎖不全）、心臓が規則的に血液を送り出す脈拍の病気である不整脈（脈拍が遅すぎる徐脈、早すぎる頻脈）、心臓の筋肉そのものの病気である心筋炎や心筋症等があります。このように色々な原因によって心臓の具合は悪くなるので、一口に心臓が悪いと言ってもその原因を調べてから治療をしないとなかなか

良くなりません。

この治療に関しては、一般的なお薬による治療以外に我々循環器内科医が日常的に行う手術もあります。たとえば冠状動脈の流れが悪い場合にはカテーテルという細い管を使って狭いところを広げることが出来ます。弁膜症の場合にも弁の開きが悪ければ特殊なカテーテルを使って弁口を広げることが出来ますし、不整脈の場合にはペースメーカーを体内外に装着したり、脈が速くなってしまう元を熱で焼いて治療します。そういう意味では外科に近い内科医の集団と言えるかも



新妻健夫 遠藤敦子 三浦英介 小林 淳
廣坂 朗 大和田憲司 武田寛人

しれません。

大動脈の病気では代表的なものに大動脈の急性解離、動脈硬化による狭窄などがあります。大部分は心臓血管外科の先生の専門分野ですが、動脈硬化による狭窄に対しては我々もカテーテルを用いた治療を行っております。

肺動脈の病気では特に緊急を要するのが肺動脈塞栓症です。エコノミークラス症候群としてご存じの方も多いかもしれません。この病気は血液の固まりである血栓が肺の動脈に詰まってしまふ病気で、緊急に血液を通さなければ命に関わる病気の一つです。

以上のように、我々の担当をしております病気は、重症であれば即生命に関わる病気です。従って、病気が発生してからなるべく早くその状態を診断し、治療をできるだけ早く開始することが大事です。循環器疾患の最終的な診断・治療法として血管の中や心臓までカテーテルを通して行う心臓カテーテル法があります。が、昨年は900名の患者さんに行われております。そのうち緊急に行った患者さんは127名に上ります（14%）。このような緊急の患者さんは、いつでも搬送されますので、循環器病センターとして常時当直医が待機しているような体制を組んであります。重症になればなるほど一人の患者さんの治療に関わる医療スタッフ数は必要になってきます。外来診察医が予約診にも関わらず診療中に飛び出していくのはこのためですので、お待たせする結果となってしまいますこと、どうかご容赦ください。

さて、循環器科のスタッフを各医師の

専門分野も併せてご紹介いたします。大

和田副院長（心臓核医学）を筆頭に4名の常勤スタッフ（廣坂・虚血性心疾患、武田・不整脈、新妻・虚血性心疾患）、2名の大学医局派遣スタッフ（三浦・心筋代謝と循環調節、小林・心臓病全般研修中）（以上6名は全員福島県立医大第一内科医局出身です）と病院ローテートの医師（現在は遠藤敦子先生）が1名です。それぞれが専門意見を出し合いながら個々の患者さんの治療方針を決定していきます。

外来は、毎日2診で行っておりますが、体調の安定している患者さんは診察時間も少なくすみますし、変化のある方の診察にはどうしても時間がかかります。予約通りに診療ができない現状は担当医師そのものが一番痛切に感じているところです。誠に申し訳ありません。

循環器系疾患の診断と治療は、内科医と外科医の両方が関わるべきで、両者の意見をまとめた最善の治療法を選択するために、当院では循環器病センターとして内科と外科が同じ病棟で診療しております。平成14年の春には新病棟ができ、国内外でも最先端の医療レベルに近づくべく学習し努力しております。

循環器系疾患に関して、太田西ノ内病院ホームページ内の医学小知識にいくつかの病気の解説をしておりますのでご覧になってください。急に胸が苦しくなったりとか、意識がもうろうとしているとか、激痛が続いているとかの場合は深刻な状態かもしれません、救急車でこ来院ください。解説書に似ていると心配の方は、どうぞ循環器科外来を受診されてください。我々スタッフがお待ちしております。

西ノ内見聞録

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その全容にせまってみたいと思います。

3 病 棟

チームワークで患者さんをささえる



3病棟スタッフ

皆様「3病棟」と言ったら何を連想されるでしょうか。基本的には糖尿病科、呼吸器科、泌尿器科の3科を中心に患者さんを受け入れております。しかし、よく考えてみますと糖尿病科は2病棟、呼吸器科は15病棟、泌尿器科は17病棟が本拠地です。

では3病棟は？なかなかイメージがつかめません。そんな3病棟ですが、この3科を中心に内科一般の患者さんの入院があり、該当病棟が空くと移ってもらっ

ています。ですから入院退院がとて多く何となく落ち着かない病棟です。

又、各病棟の特徴として、合併症をもった方が多いため検査や外来受診へと出かける方も沢山おり、外来との連携やその搬送も大切な事となっております。沢山の科の患者さんが居るとい事は、沢山の医師の出入りも多く、チームワークをはかるため、コミュニケーションを充分とる事も大切な事です。

私達看護婦は、沢山の医師といろいろな病棟の特徴をもった患者さん方と上手にコミュニケーションをはかり、チームワークを良く保ちながら良い医療の提供ができるよう頑張っています。患者さんから「この看護婦さんは優しいよ」と言われるとホッと胸をなでおろしております。



ナースステーションの様子

ます。

チーム医療と言われている現在、チームワークをしっかりと作り患者さんが一日も早く自立し、その第一歩を踏み出せる様お世話する事ができればとても嬉しく思っております。
(根本さつ子)

皮膚科外来

なごやかな雰囲気なかで

皮膚疾患は、湿疹、アトピー性皮膚炎、虫さされなどさまざまです。しかし、一度薬を塗ったから治るということとは少なく、長期間治療を必要とする患者さんも大勢いらっしゃいます。疾患の中でも多いのが「水虫」です。皮膚がむける、かゆみがある、ジクジクしている、爪がにごっている等の症状がでます。治療は、皮膚の一部を採取して顕微鏡で調べます。薬をぬるようになりますが、続けることが大切になります。

外来患者さんの数は、一日60〜120名位です。火、木曜日の午後は、特殊検査や手術を外来で行なっています。手術中は、患者さんの緊張を少しでもやわらげる目的で、音楽を流しています。

一年を通してみると、夏の季節が混雑し、待ち時間に関して大変御迷惑をおかけいたしております。待ち時間の目やすとして、番号表示をしておりますので参

考にしたいだきたいと思ひます。

皮膚疾患は、その時々々の症状に合わせて薬を変更します。自己判断による薬の中止や、医師の指示以外での薬の使用は症状が悪化することもあり、注意が必要です。おかしいと気づいたら早目に診察を受けて下さい。

医師2名、スタッフ4名で明るい外来づくりを目標とし、なごやかな雰囲気なかで、患者さんが充分先生と話ができて、安心して治療が受けられるよう努力していききたいと考えております。

(橋本豊子)



皮膚科外来スタッフ



くすりの広場⑥

～薬品供給室より～



薬品供給室は、お薬を医薬品卸業者からオンライン発注システムというコンピュータを用いたシステムで購入し、病院内の各部署へ供給する業務を行なっています。場所は、新館地下1階にあるので、皆様の目にはなかなか触れることはないかもしれませんが、もし地下へいらした時、大きい薬品の入った箱が頻りに出入りしている部署があれば、そこが私達が働いている「薬品供給室」です。現在、薬剤師3名、薬剤助手3名にて毎日の業務を行なっています。

一口に薬品と言っても、内服薬もあれば、外用薬や注射薬もあります。当院では、約1700品目のお薬が使われていますが、私たちは使用予定のあるお薬をそれぞれ必要としている部署へ、さまざまな方法で供給しています。各部署に供給したお薬は、正しい品質管理がされているか定期的に確認をしています。たとえば、お薬は適正な温度で保存されなければ期待した効き目にならないなど、保存状態で品質が変わってしまうこともあるので、その点を確認します。また、有

効期限といつて、お薬の品質が保たれる期間がありますが、それを過ぎたお薬が使用されないように、期限切れが近いお薬を早めにピックアップしておくのも重要な品質管理の仕事です。このような定期的なチェックにより、皆様に確かな品質のお薬が行き渡るよう努めています。

また、「注射セット」といって、看護婦が注射を混ぜる前に私達が患者様お一人お一人の注射薬を揃え、その内容に間違いがないか確認しています。注射薬が患者様に注射される前に薬剤師と看護婦の二重のチェックをすることができると、配合して大丈夫かなどの確認を薬剤師がすることができるという利点があります。このように、薬剤師は皆様に直接見えないところでも、適正に医薬品が使用されるよう業務を行っています。これからも、薬品供給室では、患者様が安心してお薬を使用していただけるよう、さまざまな業務展開を心がけていきたいと思っています。

(安江尚子)



検査あらかると

採血管シリーズ—5

今回は淡緑キャップ採血管について説明します。

この採血管は、主に緊急生化学検査に使用されています。

緊急生化学検査にはAST(GOT)・ALT(GPT)等の肝機能検査や血糖検査も含まれていて、おもな病気や患者さんの状態を把握するための項目を検査しています。そして救急の患者さんや容体が急変した場合にはもちろんですが、外来での診察前検査(主に慢性疾患が対象)、入院患者さんの回診・治療・処置前の検査、さらに手術中の容体確認検査などに幅広く用いられています。

血管を使用しています。血清は血液中のフィブリノーゲンがフィブリンに変化した血餅(けっぺい)と呼ばれる固まりになるのを待ってから遠心分離をする必要があります。30分〜1時間くらい待たなければなりません。一方淡緑キャップ採血管にはヘパリンという抗凝固剤が入っており、採血後すぐに遠心分離をする事が可能で直ちに検査が行えるのです。

「写真左側の試験管が遠心分離後の試験管で、上部の黄色の部分(血しょう)を使用して検査を実施します。」



緊急検査には正確な検査結果をいつでも速やかに報告することが求められていますので、現在24時間365日フル稼働の当直体制で臨床をバックアップしています。また、緊急検査として生化学検査以外にも血液ガス分析、血液学的検査なども実施しています。さらには検査機器の処理能力向上・検査試薬の改良・検査結果のオンライン・FAX送信など、臨床検査の迅速化に向けた取り組みを実践しています。

生化学検査は血液中の血清を使用するのが一般的で、何も処理をしていない採

(会田日出夫)

総合睡眠医療 センターを開設

このたび太田西ノ内病院内に、総合睡眠医療センターが開設されたことをお知らせしようか？

睡眠中の呼吸異常を伴う睡眠呼吸障害や、睡眠のみが障害される睡眠障害は、うつ血性心不全などの循環器疾患、粘液水腫といった内分泌疾患、腎不全やネフローゼのような腎疾患、扁桃肥大などの耳鼻咽喉科疾患、それに不眠症やナルコレプシーなどの精神科疾患など、さまざまな疾患に起因することが知られています。専用病床2床を有する当センターは、このようにさまざまな原因に伴う睡眠障害の診断、それに各種治療の効果判定を行うため、ポリソムグラフィと呼ばれる終夜睡眠検査を行うところです。



高崎センター長（中央とスタッフ）

心筋梗塞や脳梗塞といった重篤な疾患を高率に合併することがすでに明らかにされています。いっぽう、適切な治療を開始すれば、QOLの向上や合併症の予防が可能になることも明らかになっています。

米国では現在、米国人全体の約20%に睡眠障害、2〜4%以上に睡眠時無呼吸症候群を含めた睡眠呼吸障害があり、さらに将来、その数は一層増加すると考えられています。いっぽう、わが国の睡眠障害・睡眠呼吸障害罹患率も、米国とはほぼ同等と推測されていますが、睡眠障害・睡眠呼吸障害診療の可能な医療機関は、残念ながら非常に限られているのが現状です。

当センターは今後、全国でも屈指の睡眠障害・睡眠呼吸障害診療施設となるべく努力してゆく所存ですので、皆様方の暖かいご助言などを賜れば幸いです。なお、睡眠障害や睡眠呼吸障害について、ご質問などございましたら、太田西ノ内病院生理検査室受付までお問い合わせください。

（総合睡眠医療センター長 高崎雄司）



10月31日に開所式が行なわれた。

彩食健美

かぶと鮭のスープ煮



【材料】（2人分）

葉付きかぶ	4株（500g）
生 鮭	2切れ（200g）
固形ブイヨン	1個
白ワイン	大さじ1
塩、胡椒	少々
バター	小さじ1（4g）

エネルギー（1人分）	233cal
塩 分	2.2g

【作り方】

- ① かぶは葉を1〜2cmつけて落とし3〜4cm長さに切り、根は皮を剥いて縦2つずつに切る。
- ② 鮭は一口大に切る。
- ③ お湯2カップ（400cc）に固形ブイヨンを溶かし、ワインを合わせて煮立てる。
- ④ ③にかぶと鮭を入れ再び煮立ったら弱火にして10〜15分煮ます。
- ⑤ 塩・こしょうで味を整えスープ皿に盛ってバターを落とす。

日一日と寒さが厳しくなってきましたが、風邪などひいていませんか。ちよつと寒気がしたり、熱っぽい時に身体が温まり、胃腸にも優しい「かぶと鮭のスープ煮」を御紹介します。

かぶの根には消化を助ける働きがあり、胃や腸の働きを正常に整えてくれます。

葉には食物繊維、ビタミンA、C、カルシウムが豊富に含まれています。かぶを買う時にはできるだけ葉が青々として、根の部分の形が整っていて白くツヤがあるものが良いでしょう。

鮭は蛋白質と脂質を多く含んでいます。脂質の中には血液の粘りを取り、血栓症を防ぐEPA（エイコサペンタエン酸）や、脳の細胞を活性化するDHA（ドコサヘキサエン酸）が豊富に含まれています。鮭の切り身は、身に白い脂肪が筋状に入っていて、きれいなピンク色のものが新鮮です。

旬の材料を使い、バターを加えて風味豊かな洋風スープをお試し下さい。



医白岩クリニック

おおがチャイルドクリニック



たわかわクリニック



オープンシステム 情報ネットワーク

太田西ノ内病院では、患者さんに質の高い医療を受けていただくために、開業医の先生方と連携をむすんでいます。ここでは、太田西ノ内病院オープンシステムの登録医療機関、登録医師のご紹介をしていきます。

おおがチャイルドクリニック



院長 太神 和廣

昭和48年 東京大学医学部医学科卒業、昭和48年 東京大学医学部小児科学教室入局、昭和52年 東京大学医学部小児科助手、昭和54・57年 米国ニューヨーク・スローテタリング研究所留学、昭和57年 東京大学退職、昭和60年 太田総合病院小児科部長、平成元年 太田西ノ内病院小児科部長、平成11年10月 郡山市大槻町にて、おおがチャイルドクリニック開業、現在に至る。



太神先生（後列、左から2人目）とスタッフのみなさん

診療では、小児科については健康面での子育てのサポートを最大の目的と考えており、一般的な病気の診療だけでなく、乳幼児健診や予防接種、こころのケアについても力をいれております。
アレルギー科については、気管支喘息やアトピー性皮膚炎などの疾患について専門的な医療をわかりやすく提供することを目標としております。
太田西ノ内病院には患者さんの紹介、入院、救急受診などで大変お世話になっております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

所在地/〒963-0201

郡山市大槻町字土瓜204-75

電話/024-962-0600

FAX/024-962-0599

診療科/小児科・アレルギー科、予防接種、乳幼児健診

休診日/木曜日・祝日・日曜日午後

診療時間/月・火・水・金：午前9時～12時
午後2時～6時30分

土曜日：午前9時～12時

午後2時～5時

日曜日：午前9時～午後1時

病床数/なし

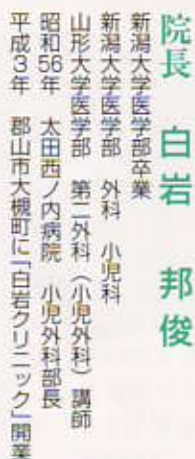
往診・訪問診療：なし

登録医から

平成11年10月に大槻町土瓜に開業しました。開業するまでの約15年間は太田西ノ内病院に勤務させていただき、大変お世話になりました。

当院は小児科・アレルギー科を専門としており、来院される患者さんの年齢層を考え、建物の外観や内部のつくり、スタッフの服装なども親しみやすいものをところがけました。院内でもなるべく医療機関らしさを感じさせないように配慮しているつもりです。おかげさまで子どもさんたちは待ち時間を楽しくすごしているようです。

（医療法人）白岩クリニック



また 顔面は美容上の配慮が必要で、ほとんどの家族は「創跡が残らないでしようか」と心配します。

太田西ノ内病院の小児外科・形成外科・口腔外科の諸先生のアドバース・後方支援という心強い味方を得て、丁寧な外科治療を心掛けて、治療の終わった皆様からはまずの評価をいただいております。

これからも太田西ノ内病院ならびに諸先生にお世話になりますのでよろしくお願い致します。

当クリニックは小児科・内科の他に外科
外来治療が出来ることが特徴として上げら
れます。10年間外科治療を続けてきて気が
付いたことを一つ書いてみます。

幼児から学童まで、時には高校生にも、
頭・顔・口唇のケガが非常に多いことです。
転んだ際に手よりも先に顔面が落ちてしま
うことが原因の一つと考えられます。軽い小
さな傷に見えても深く割れた創のこともあり
慎重に対処する必要があります。

当クリニックは平成3年11月に郡山市大槻町にオープンしましたので、今年の11月で満10年になります。地域の皆様に支えられてファミリー・クリニックとして大過なく診療を続けてきました。小児を中心としてお母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃんを訪れる患者さんの年齢層も広がってきています。

郡山市大槻町谷地17-1

F A X/024-961-0008

E-mail / siraiwak@carrot.co

診療科／小児外科・小児科・外科・内科・
肛門科・泌尿器科

休 診 日／日曜日・祝日

診療時間／月～木曜日：午前9時～12時30分

午後2時～6時

金曜日：午前9時～12時

午後2時～6時

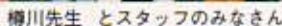
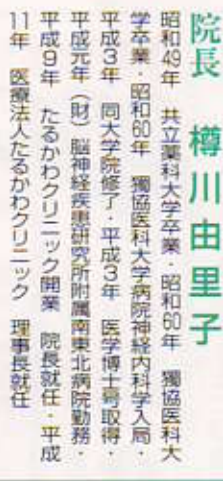
土曜日：午前9時～12時

午後1時～2時30分

病床数/2床 往診・訪問診療：なし

登録医から

たるかわクリニック



層貢献できればと思っております。

新しい世紀を迎え、私どもも在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーション等々、介護保険事業に取り組んでおりますが、今後太田綜合病院さんとはこれらを含めた包括的な連携を更に密にし、多くの患者さんのために最大の努力をしていきたいと思っております。

皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

しかし、昨今高度な専門医療が求められるとき、私もも診療所にとりましては病診、診々連携は欠くことのできない条件で、これまで太田綜合病院さんには多くの患者さんをお願いし、適切な医療を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

また、私どもは地域医療の在り方をみつめ、MRI装置を広く諸先生方に開放してご利用いただいておりますが、更に技術の向上に努めたいと思います。

平成9年12月に当地に開業して丁度4年を経過したばかりの今だ新しいクリニックです。この4年という歳月は介護保険制度の施行や大きな社会構造の変化による21世紀の新たな医療の姿を身をもって体験させられた日々でした。

私の専門は神経内科医として、脳血管障害や変性疾患であるパーキンソン病、脊髄小脳変性症など難病の診療ですが地域における役割としてプライマリケアにも最善の努力をしております。

郡山市大槻町字御前25-1

電話/024-966-3311

F A X/024-966-3312

診療科／神経内科・内科・呼吸器科・

循環器科・リハビリテーション科

休診日／金曜日午後、日曜、祝祭日

診療時間／月～木、土曜日：午前8時30分～

午後1時 午後2時～6時

金曜日：午前8時30分～12時30分

病床数／なし

往診・訪問診療：あり

登録医から

★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②名付けの理由
- ③子どもに願うこと
- ④ご両親の決意を一言

データ

わた べ よし のぶ
渡部 順慶 くん

- 2001年10月16日
12時43分生まれ
- 体重3600g
- 父：渡部秀幸さん
母：渡部弘美さん



データ

たか はら しょう えい
高原 照瑛 くん

- 2001年10月15日
18時25分生まれ
- 体重2650g
- 父：高原 智さん
母：高原恵子さん



順慶くんとお母さん

- ①目・鼻・手・足がでかい！とりあえず、健康に生まれて良かった。うれしい。
- ②人生の慶びが順に来るようにと祖父がつけてくれました。
- ③こんな世の中ですから（いろんな事件やテロ報復攻撃など）人の命の重さがわかる思いやりのある人に育ってもらいたいです。



照瑛くんとお母さん

- ①また、パパそっくり！
- ②照らし導いてくれるような、強く優しい男になってほしい。
- ③思いやりのある強い人。周りの人に、かわいがってもらえる人。
- ④どんな時にも、子供の話を聞いてあげられる親になりたい…。夫婦ゲンカをなるべくしない。言葉使いを、きれいに、ていねいに。

「上棟の儀」を行う、当法人役員と
工事関係者



◀完成予想図



現在着工しております太田西ノ内病院の増築工事はお陰様で順調に進捗し、十月二十五日（木）「上棟式」が行われました。式には財団法人太田綜合病院の役員をはじめ工事関係者など約五十名が出席し、これからの工事の安全と無事竣工を祈念いたしました。なお、竣工は来春予定。今後「ふれ愛・にしのうち」でもその都度紹介していく予定です。

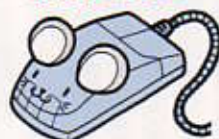
「上棟式」執り行われる
——太田西ノ内病院
——第四期整備計画事業——

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 佐久間秀夫
副委員長 須田 秀一
委員 吉成 妙子・遠藤めぐみ
朝倉 俊成・後藤 桂子
松田美津子・荒川 幸徳
木原 均・久下 薫
佐藤 浩徳（幹事）

しかし、ある特定の食品をとり続けることは不可能ですし、一つの食品で全ての栄養素を満たすことはできません。食べ物成分に注目することも大事ですが、その食べ方が重要なのです。一つの情報に振り回されず、多方面からの意見に耳を傾けることが大切ではないでしょうか。広報誌「ふれ愛・にしのうち」も、患者さんの声・医療現場の声・地域の声と多方面からの意見を生かして情報を発信していきたいと思っています。（後藤桂子）

編集後記



空が一段と高く、少し冷たい風が冬の訪れを感じさせます。残すところ今年も後わずか。師走に向かいあわただしい日々が続きます。

最近テレビでは連日食べ物に関する健康情報が流れています。「玉葱には○○が含まれているから身体にいいんだって」とか「○○を食べると○○が治るんだって」とか。食べ物にどんな栄養や成分が含まれているか、それがどんな働きをするかについて関心を持つ人は多いようです。これらに敏感に反応して、スーパーの食品売場では特定の食品が売り切れになることもあるようです。